令和6年度事業報告

令和6年度の家畜衛生の状況を見ると高病原性鳥インフルエンザの発生は、令和6年10月以降14道県で51事例と、過去最悪であった令和4年・5年シーズン(26道県で84例、令和5年5月時点)に匹敵する勢いであった。また、豚熱も散発的に発生が継続し、岐阜県、愛知県、長野県、三重県、福井県、埼玉県、山梨県、沖縄県、群馬県、山形県、和歌山県、奈良県、栃木県、神奈川県、滋賀県、宮城県、茨城県、東京都、兵庫県、佐賀県、岩手県、新潟県、愛媛県、千葉県の24都県98例に拡大しており(令和7年4月4日時点)、ワクチン接種推奨地域は北海道を除く全国に及んでいる。さらに、アフリカ豚熱は、アジアでは中国を中心としてほぼ全域に拡大しており、韓国では釜山港の国際旅客ターミナル周辺で令和5年12月から野生イノシシで続発している。釜山港と下関、福岡、大阪、対馬は毎日フェリー等が往復しており、侵入防止のため厳重な警戒が求められている。その他、令和6年11月には福岡県及び熊本県でランピースキン病の発生が見られている。このように国内外で感染症のまん延が続く中、動物用医薬品業界としても、継続して関係機関等と連携して家畜防疫の強化に協力していかなければならない状況である。

一方、薬剤耐性対策については2期目である「薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン2023-2027」が策定されている。プランでは、6分野を柱として推進することとなっており、抗微生物剤の適正使用に数値目標を設定するなどより具体的な取り組みが掲げられている。これまで我が国では硫酸コリスチンを始めとする抗菌性物質系飼料添加物の指定取り消し等の対策が行われてきている。今後も One Health の考え方を踏まえた動物用抗菌性物質(動物用医薬品及び飼料添加物)の適正使用及び慎重使用の取り組みを進めつつ、抗微生物剤の必要性・使用量を減じるようハード、ソフト両面からの飼養衛生管理の改善、ワクチン等の開発が必要である。

このように動物用医薬品業界を取巻く環境が、引き続き大きく変化する中、本協会では「動物用医薬品等(医薬品、医薬部外品、医療機器及び再生医療等製品をいう。)の開発、改良及びその普及並びに動物用医薬品等に関する調査研究の成果の活用を図ることにより、動物の衛生の向上を推進し、人と動物の共生の増進を通じて公衆衛生の向上に寄与する。」ことを目指して活動を展開した。

公益目的事業としては、農林水産省の補助事業(2件)及び日本中央競馬会助成事業(3件)を実施した。これらの事業において、緊急時に備えた動物用ワクチン供給体制の維持、オセアニアにおける動物用医薬品の輸入制度調査や日本の動物用生物学的製剤基準英語版作成に取り組んだ。また、動物用医薬品の承認申請資料に関する国際基準作成推進事業(農林水産省補助事業)においては、オランダ、アムス

テルダムで対面で開催された第7回公開会議、第43回 VICH 運営委員会(SC 会議)及び第17回 VICH フォーラムに参加し、各ガイドライン策定にあたっての活動を行った。なお、参加各国の規制当局幹部による情報交流会も併せて開催した。

また、自主事業として毎年開催している第56回学術講習会では、「動物薬事を巡る最近の情勢」の他、「海外悪性伝染病の脅威ーアフリカ豚熱とランピースキン病についてー」及び「小動物臨床現場での薬剤耐性(AMR)の現状とその対策」についての講演をオンライン生配信で行い、第45回目となった動物用医薬品管理者講習会は、eラーニング方式で実施した。

さらに、業界関係者相互協力事業の一環として医薬品医療機器等法違反の再発防止のためにコンプライアンス遵守活動に取り組んでおり、令和6年度もコンプライアンス推進委員会を中心に、法令遵守体制の自己点検などを行い、薬事責任担当者会議もeラーニング方式で実施した。

なお、働き方改革の一環として、令和6年度は理事会、委員会及び補助事業関連会議等は殆どオンライン若しくは電子的方法で実施した。

1 会員の異動

(1) 正会員

- ・令和5年度末の正会員数は、64所社であった。
- ・令和6年度は、入退会はなかった。
- ・その結果、令和7年3月末の正会員数は、64所社となった。

(2) 特別会員

- ・令和5年度末の特別会員数は、8所社であった。
- ・令和6年8月6日に、扶桑薬品工業(株)が退会。
- ・その結果、令和7年3月末の特別会員数は、7所社となった。

(3) 賛助会員

- ・令和5年度末の賛助会員数は、9(所社)で、あった。
- ・令和6年度は、入退会はなかった。
- ・その結果、令和7年3月末の賛助会員数は、9(所社)となった。

2 総会及び理事会

令和6年度において、総会及び通常理事会を開催した。この会議開催日・期間、場所及び議題は、次のとおりである。

(1) 第1回臨時理事会

開催日:令和6年4月17日(木)

場所:Microsoft Teams による Web 会議

議題:

【議決事項】

第1号議案 ランピースキン病生ワクチンの契約締結に関する件

(2) 第1回通常理事会

開催日:令和6年5月10日(金)

場所:Microsoft Teams による Web 会議

議題:

【議決事項】

第1号議案 令和5年度事業報告及び計算関係書類の承認に関する件

第2号議案 役員を選任に関する件

第3号議案 第57回総会の日時、場所、目的事項に関する件

第4号議案 (公社)日本動物用医薬品協会委託業務規程に関する件

【報告事項】

ア 令和6年度の事務局体制について

イ 令和6年度における主な行事予定について

(3) 第57回通常総会

開催日:令和6年6月5日(水)

場所:KKR ホテル東京(丹頂の間)

議題:

【議決事項】

第1号議案 令和5年度計算関係書類に関する件

第2号議案 令和6年度会費等の額及び納入方法に関する件

第3号議案 役員を選任に関する件

【報告事項】

1) 令和5年度事業報告及び附属明細表について

2) 令和6年度事業計画書及び収支予算書について

(4) 第2回臨時理事会

開催日:令和6年6月5日(水)

場所:KKR ホテル東京(丹頂の間)

議題:

【承認事項】

第1号議案 理事長、専務理事及び常務理事の選定に関する件

(5) 第3回臨時理事会(電子メールによる議決)

期間:令和6年6月21日(金)～6月28日(金)

【議決事項】

今期の常設委員会担当理事の選任について

(6) 第2回通常理事会

開催日:令和6年10月3日

場所:Microsoft Teams による Web 会議

議題:

【議決事項】

第1号議案 コンプライアンスの推進に関する件

(令和6年度法令遵守体制の自己点検チェックリストの承認)

【報告事項】

(1) 令和6年度上期の事業実施状況について

(2) 業務執行理事の職務報告について

(3) 令和6年度下期の行事予定について

(4) 他団体の行事に対する協賛について

(7) 第3回通常理事会

開催日:令和7年3月17日(月)

場所:Microsoft Teams による Web 会議

議題:

【議決事項】

第1号議案 令和7年度事業計画に関する件

第2号議案 令和7年度予算に関する件

第3号議案 令和7年度会費賦課方針に関する件

第4号議案 入会申込に関する件

【報告事項】

(1) 令和6年度下半期の事業活動報告について

- (2) 業務執行理事の職務報告について
- (3) 令和6年度法令遵守体制の自己点検の集計結果について
- (4) 令和7年度における主な行事予定について

3 総務委員会

(1) 令和6年度第1回総務委員会

開催日:令和7年3月11日(火)

方法:Microsoft Teams による Web 会議

【議 題】

- 1. 令和7年度事業計画に関する件
- 2. 令和7年度予算に関する件
- 3. 令和7年度会費賦課方針に関する件

4 動物用医薬品等の学術の振興及び普及に関する事業(公益1)

動物に使用する医薬品、医薬部外品、医療機器及び再生医療等製品(以下「動物用医薬品等」という。)に関する最新の学術情報、許可・承認情報並びに関連情報を、講習会、書籍・情報誌、ホームページにより提供し、動物用医薬品等に対する一般社会の理解の醸成と動物用医薬品関連業務に関与する者の資質の向上を図り、動物用医薬品等の開発促進と安定供給に資することを目的とする事業である。

(1) 第56回学術講習会

開催期間:令和6年10月24日

方 法:Zoom ライブ配信、オンデマンド配信:11月6日～11月15日

受講者:264名

(講義内容)

1. 「動物薬事を巡る最近の情勢」

農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課課長補佐 中島 奈緒

2. 「海外悪性伝染病の脅威ーアフリカ豚熱とランピースキン病についてー」

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

動物衛生研究部門 越境性家畜感染症研究領域

海外病グループ長 森岡 一樹

海外病グループ長補佐 舩甚 賢太郎

3. 「小動物臨床現場での薬剤耐性(AMR)の現状とその対策」

村田動物病院 院長

東京農工大学農学部附属感染症未来疫学研究センター 客員教授

獣医臨床感染症研究会 会長 村田 佳輝

(2) 第45回動物医薬品等製造販売管理者講習会

開催方法:HPでのオンデマンド配信によるeラーニング。

公開日:令和7年2月25日～3月14日

受講者:総計485名

講演内容:

1. 動物薬事制度について
2. 動物用医薬品等の製造販売業の許可申請等の手続きについて
3. 動物用医薬品等の製造販売承認申請の手続について
4. 動物用医薬品等の再審査について
5. 動物用医薬品等のGMP適合性調査について
6. 動物用医薬品等の信頼性基準適合性調査について
7. 動物医薬品検査所の移転について
8. 動物用医薬品関係事業について
9. 動物用ワクチン戦略検討会について

(3) 広報活動事業

公益事業活動の一層の推進を図るため、ホームページ掲載事項を更新し、動物用医薬品等に関する普及並びに適正使用の推進のための広報活動を展開。

ア 動物用医薬品等関係通知等を常に掲載

会員等への広報活動を実施した。令和6年度は、合計69件の通知等情報を掲載。

(4) 会議の開催

令和6年度において、次のとおり活動した。

ア 第1回広報・教育委員会

開催期間:令和6年5月20日～27日

方法:メール協議方式。

議題 1.JVPA DIGEST 第80号の編集について

2. JVP A DIGEST 第81号の企画について
3. 国際情報 144号の編集について
4. 国際情報 145号の企画について
5. 第56回学術講習会テーマ・講師について

イ 第2回広報・教育委員会

開催期間:令和6年9月13日～9月20日

方法:メール協議方式。

議題:1.JVPA DIGEST 第81号の編集について

2. JVPA DIGEST 第82号の企画について

3.国際情報第 145号の編集について

4.国際情報第 146号の企画について

5.第56回学術講習会の開催について(報告)

ウ 第3回広報・教育委員会

開催期間:令和7年1月17日～24日

方 法:メール協議方式。

議題： 1. JVPA DIGEST第82号の編集について

2. JVPA DIGEST第83号の企画について

3. 国際情報146号の編集について

4. 国際情報147号の企画について

5. 第45回動物用医薬品等製造販売管理者講習会の開催について
(報告)

(5) 会報等配布事業

ア 動物薬事

第62巻第 4 号(No.739)～第62巻第3号(No.750)

毎月25日に発行

イ JVPA DIGEST

第80号 令和6年6月に発行

第81号 令和6年10月に発行

第82号 令和7年2月に発行

ウ 国際情報

第144号 令和6年6月に発行

第145号 令和6年10月に発行

第146号 令和7年2月に発行

(6) 関係図書の発行

ア 動物用医薬品等関係法令集 2025 年 2 月版

発行時期:令和7年2月

発行部数:350部

5 動物用医薬品等の関係法令等の調査及び研究に関する事業(公益2)

動物用医薬品等に関する内外の法制度、許可・承認ガイドライン、並びに開発・改良や製造技術の向上に資する調査研究を行い、製造販売業等の許可や製造販売承認の迅速化及び円滑化への提言活動等により、開発促進と安定供給に資する事業である。

1) 補助・助成事業

【動物用医薬品の承認申請資料に関する国際基準作成推進事業】

(国庫補助事業)

動物用医薬品の承認審査資料に関する日、米、欧の3極による国際基準作成のための情報収集・分析及び調査と国際会議の開催を行い、適正な審査資料の作成及び迅速な承認審査の促進に資することを目的とする事業である。

令和6年度において、開催・出席した会議は、次のとおりである。

ア 国際会議の開催・参加

ア) VICH Bioequivalent EWG 会議(Web 会議)

開催日:令和6年5月21日

場所: Zoom により参加

議題: Dissolution Guidance(案) について等

イ) 第1回 Batch Potency Test Subgroup 会議(Web 会議)

開催日:令和6年5月30日

場所: Zoom により参加

議題: ワクチン等の Batch Potency Test In Vitro GL の検討について等

ウ) 第13回コーディネーター会議(Web 会議)

開催日:令和6年6月24日

場所: Zoom により参加

議題: 第43回 SC 会合、第 17回 VF 会合、VICH7について等

エ) 第4回 Bio-Products Safety Subgroup 会議(Web 会議)

開催日:令和6年8月21日

場所: Zoom により参加

議題: GL Dr Ver4.1 について

オ) 第1回 Task Force for Concept paper on GRDF 会議(Web 会議)

開催日:令和6年8月27日

場所: Zoomにより参加

議題: Concept paper on GRDF について

カ) 第2回 Task Force for Concept paper on GRDF 会議(Web 会議)

開催日:令和6年9月5日

場所: Zoom により参加

議題: Concept paper on GRDF について

キ) 第14回コーディネーター会議(Web 会議)

開催日: 令和6年6月24日

場所: Zoom により参加

議題: 第43回 SC 会合、第 17回 VF 会合、VICH7について等

ク) 第2回 Batch Potency Test サブグループ会議

開催日: 令和6年10月7日

場所: Zoom により参加

ケ) 第4回 Bioequivalence EWG 会議

開催日: 令和6年10月21日

場所: Zoom により参加

コ) 第1回 MRK EWG 会合

開催日: 令和6年11月5日

場所: Zoom により参加

サ) Bioequivalence EWG 対面会議

開催日: 令和6年11月8日～9日

場所: オランダ、アムステルダム、EMEA

シ) 第 43 回 SC 会合、第 17 回 VF 会合、第7回公開会議

開催日: 令和6年11月10日～15日

場所: オランダ、アムステルダム、EMEA

ス) 第5回 Bioequivalence EWG 会議

開催日: 令和7年2月25日

場所: Zoom により参加

セ) Bio-Products Safety EWG 会議

開催日: 令和7年2月27日

場所: Teams により参加

イ 令和6年度企画調整委員会の開催

開催日: 令和6年11月6日

場所: Microsoft Teams による Web 会議

議題: 第43回VICH SC会議の議題に関する検討

2) 常設委員会の開催等(自主事業等)

ア 令和6年度第1回薬事委員会(拡大)

開催日: 令和6年8月7日

場所: Microsoft Teams による Web 会議

議題:第31回動物薬事問題定例協議会提案事項について
※(「第31回動物薬事問題定例協議会提案事項」令和6年8月16日提出)

イ 動物用ワクチン戦略検討会(農林水産省主催)

第1回:令和6年6月21日

第2回: 7月9日

第3回: 8月27日

第4回: 11月14日(場所は全て農林水産省会議室)

※(動物用ワクチン戦略中間とりまとめ:令和6年11月29日)

ウ 国際対応委員会

開催日:令和6年10月28日

場所:Microsoft Teams による Web 会議

議題:第43回VICH SC会議の議題に関する検討

エ 第2回薬事委員会(拡大)

開催日:令和7年2月14日(金)13:00~14:30

場所:Microsoft Teams による Web 会議

議題:第31回動物薬事問題定例協議会提案事項・質問事項に対する回答
に対する再要望等について

オ 第31回動物薬事問題定例協議会

開催日:令和7年3月13日(木)

場所:Microsoft Teams による Web 会議

議題:提案事項・質問事項に対する回答について等

カ 第1回VMCプラットフォーム定例会(農林水産省主催)

開催日:令和7年3月18日

キ HealthforAnimals 関係

ア) 第90回 理事会

開催日:令和6年10月28日

場所:Microsoft TeamsによるWeb会議

イ) 第91回 理事会、2025総会

開催日:令和7年3月26~27日

場所:英国、ロンドン(対面、理事長参加)

6 動物用医薬品等の開発・改良及び製造技術の向上に関する事業(公益3)

動物用医薬品等の開発・改良及び製造技術の向上は、動物衛生及び公衆衛生の確保、家畜・家きんや養殖魚類の健康増進による畜水産物の安定供給に不可欠である。

一方、近年、豚熱、鳥インフルエンザ及び豚流行性下痢のように畜産農家や地域経済に甚大なる被害をもたらす疾病が発生している。また、自然環境の開発等に伴い、未知のウイルスや細菌などの病原体も出現しており、動物用医薬品等の開発・改良の重要性は年々増している。

そのため、当協会は、広く国内の動物衛生に関する諸問題や国際的な疾病流行やその動向等を調査収集し、動物の健全な育成や福祉を助長するとともに、より安全で有効な動物用医薬品等を開発・改良することにより公衆衛生の向上に資することを目指している。

さらに、動物用医薬品の供給者を会員に有する団体として、その専門性・知見等から政府や畜産関連団体が国民のために行う各種施策や要請の受け皿団体とし、国等と連携し、本事業を推進している。

【 動物用医薬品輸出促進事業(令和6年度 JRA 畜産振興事業) 】

オセアニア地域(オーストラリア、ニュージーランド)における動物用医薬品輸入制度についての調査を行い、我が国からの輸出手続きの迅速化・円滑化を図ることとし、令和6年度は、次のような会議を開催し、事業を推進した。

ア 第1回動物用医薬品輸出促進委員会

開催日:令和6年6月18日

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題: 1. 令和6年度動物用医薬品輸出促進事業実施計画について

2. 輸出対象国の動物用医薬品輸入制度調査の内容について

ア オーストラリアの調査仕様書について

イ ニュージーランドの調査仕様書について

イ 第1回調査打合せ会議(キックオフミーティング)

開催日:令和6年7月18日

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題: 輸出対象国の動物用医薬品輸入制度調査の内容について

ウ 第2回調査打合せ会議

開催日:令和6年8月20日

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題: 輸出対象国の動物用医薬品輸入制度調査の進捗について

エ 第3回調査打合せ会議

- 開催日:令和6年9月24日
方 法:Microsoft Teams による Web 会議
議題: 輸出対象国の動物用医薬品輸入制度調査の進捗について
- オ 第4回調査打合せ会議
開催日:令和6年10月29日
方 法:Microsoft Teams による Web 会議
議題: 輸出対象国の動物用医薬品輸入制度調査の進捗について
- カ 第1回動物用医薬品輸入制度調査委員会
開催日:令和6年11月21日
方 法:Microsoft Teams による Web 会議
議題: 1. 輸出対象国の動物用医薬品輸入制度調査の中間報告について
ア オーストラリアについて
イ ニュージーランドについて
- キ 第5回調査打合せ会議
開催日:令和6年12月17日
方 法:Microsoft Teams による Web 会議
議題: 輸出対象国の動物用医薬品輸入制度調査の進捗状況について
- ク 第6回調査打合せ会議
開催日:令和7年1月17日
方 法:Microsoft Teams による Web 会議
議題: 輸出対象国の動物用医薬品輸入制度調査の進捗状況について
- ケ 第2回動物用医薬品輸入制度調査委員会
開催日:令和7年2月14日
方 法:Microsoft Teams による Web 会議
議題: 1. 輸出対象国の動物用医薬品輸入制度調査の最終報告について
ア オーストラリアについて
イ ニュージーランドについて
- コ 第2回動物用医薬品輸出促進委員会
開催日:令和7年3月14日
方 法:Microsoft Teams による Web 会議
議題: 1. 令和6年度動物用医薬品輸出促進事業結果について
2. 自己評価について

【 動物用生物学的製剤基準英語版作成事業(令和6年度 JRA 畜産振興事業) 】

動物用ワクチンの輸出、海外での承認取得に必要な日本の動物用生物学的製剤基準の英語版を作成し、国産ワクチンの輸出拡大を図る事業である。

令和6年度は次のような会議を開催し事業を推進した。

ア 第1回動物用生物学的製剤基準英語版作成推進委員会

開催日:令和6年6月18日

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題: 1. 令和5年度動物用生物学的製剤基準英語版作成事業の報告について

2. 令和6年度動物用生物学的製剤基準英語版作成事業について

ア) 事業の推進について

イ) 事業達成目標等に関する検証について

イ 第1回動物用生物学的製剤基準英語版作成委員会

開催日:令和6年7月10日

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題: 1. 令和5年度動物用生物学的製剤基準英語版作成事業の報告について

2. 令和6年度動物用生物学的製剤基準英語版作成について

ウ 第2回動物用生物学的製剤基準英語版作成委員会

開催日:令和6年12月4日

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題: 1. 令和6年度動物用生物学的製剤基準英語版作成について

エ 第3回動物用生物学的製剤基準英語版作成委員会

開催日:令和7年2月4日

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題: 1. 令和6年度動物用生物学的製剤基準英語版作成について

オ 第2回動物用生物学的製剤基準英語版作成推進委員会

開催日:令和7年3月14日

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題: 1. 令和6年度動物用生物学的製剤基準英語版事業の報告について

2. 自己評価について

7 動物衛生向上対策に関する事業(公益4)

近年、家禽類を中心に感染・発症が認められてきた高病原性鳥インフルエンザ(H5N1亜型株)ウイルスのヒト等への感染例が報告されるようになった。また、動物の感染症が食の安全や地域経済に大きな影響を及ぼす事例が報告されている。

本事業では、家畜等及び使用者に対して甚大で致命的な被害を及ぼす人獣共通感染症等の的確な防除に不可欠な防疫資材の緊急供給を実施し、家畜等の衛生管理の向上に貢献することにより、公衆衛生の向上並びに畜水産物の安定供

給の確保を図ることを目的とする事業である。

【 動物用ワクチン等保管事業(令和6年度国庫補助事業) 】

一般社団法人全国動物薬品器材協会、動物用医薬品製造販売業者3社、農研機構動物衛生研究部門、大学、臨床獣医師(民間診療所、家畜共済等)、都道府県、農林水産省動物医薬品検査所、農林水産省動物衛生課等で構成される「動物用ワクチン等の安定供給委員会」を組織し、ワクチン等の流通調査・分析、保管ワクチン等の選定・保管数量案の作成、緊急時ワクチン等流通等データベースの維持・更新、緊急時ワクチン等流通マニュアルの更新・普及及び効果的かつ効率的なワクチン利用のための情報の周知とともに農林水産省消費・安全局動物衛生課長が指定したワクチン等について保管を行う事業である。

令和6年度において、次のような会議を開催した。

ア 第1回動物用ワクチン等保管協議会幹事会

開催日:令和6年6月24日

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:1. 令和5年度動物用ワクチン等保管事業の報告について
2. 令和6年度動物用ワクチン等保管事業の推進について

イ 第1回動物用ワクチン等の安定供給委員会

開催日:令和6年7月25日

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:1. 令和5年度動物用ワクチン等保管事業の報告について
2. 令和6年度動物用ワクチン等保管事業について

ウ 第1回ワクチンプログラム作成検討調査会

開催日:令和6年10月21日

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:1. 動物用ワクチン利用の手引き(牛用ワクチン)の改訂について
2. 動物用ワクチン利用の手引き(豚用ワクチン)の改訂について

エ 第2回動物用ワクチン等保管協議会幹事会

開催日:令和6年12月11日

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:1. 令和6年度動物用ワクチン等保管事業の予算執行状況について
2. 今後のスケジュールについて

オ 第2回動物用ワクチン等の安定供給委員会

開催日:令和7年3月5日

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:1. 動物用ワクチン利用の手引きの改訂について

カ 第3回動物用ワクチン等保管協議会幹事会

開催日:令和7年3月5日

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:1. 令和6年度清算払請求にあたっての留意事項等について

2. 動物用ワクチン等保管事業で購入した物品の事業終了後の取り扱いについて

【ランピースキン病ワクチン接種体制整備事業(令和6年度JRA畜産振興事業)】

海外で使用されているランピースキン病の対策に有効と考えられる国内未承認のワクチンを輸入し、我が国におけるワクチン接種体制を整備することを目的とする事業であり、令和6年度上期には以下の会議を開催したほか、ワクチン等の輸入・保管・分与等を行った。

ア 第1回ランピースキン病ワクチン接種体制整備事業推進委員会

開催日:令和6年4月16日

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:ランピースキン病ワクチン接種体制整備事業について

イ 令和6年11月19日 福岡県に分与(6,000ドーズ)

ウ 令和6年12月12日 福岡県に分与(5,000ドーズ)

エ 第2回ランピースキン病ワクチン接種体制整備事業推進委員会

開催日:令和7年3月11日

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:ランピースキン病ワクチン接種体制整備事業の進捗状況について

オ 令和7年3月21日 福岡県に分与(6,000ドーズ)

8 収益事業等

動物用医薬品等に対する理解の醸成と知識の啓発・普及に貢献するために書籍を出版する事業である。

【出版事業】

・家畜共済薬効別薬価基準表(令和6年度版)の発行

発行時期:令和6年4月24日

発行部数:1,100部

・2024年度版 動物用医薬品医療機器要覧

発行時期:令和6年9月

発行部数:1,000部

9 その他協会の目的を達成するために必要な事業(相互扶助等事業)

相互扶助等事業として以下のとおり意見交換会の開催等を実施した。

(1) 意見交換会

ア 会員、関係団体、農林水産省関係者等との意見交換会

開催日:令和6年6月5日

場所:KKR ホテル東京

参加者:98名

イ 令和7年賀詞交歓会

開催日:令和7年1月10日

場所:KKR ホテル東京

参加者:147名

(2) コンプライアンス活動の推進

ア 第1回コンプライアンス推進委員会の開催

開催日:令和6年9月3日

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:令和6年度法令遵守体制の自己点検チェックリストについて

イ 第2回コンプライアンス推進委員会の開催

開催日:令和7年2月4日

方法:Microsoft Teams による Web 会議

議題:令和6年度法令遵守体制の自己点検の集計結果について

ウ 令和6年度薬事責任担当国会議

開催日:令和7年3月27日～4月4日

方法:HP での動画公開方式による e-ラーニング。

議題:1. 会員所社によるコンプライアンス推進の取り組み 等

(以上)

附属明細表

事業報告に明細を併せて記述したことから、附属明細表は作成していない。